

平成21年度公共事業等事前評価調書（簡易型）

（土石流被害の防止による評価）

（区分） **国補** 県単

事業名	事業箇所	地区名	事業主体
復旧治山事業（通常地域）	都留市 鹿留	こし沢 ^{さわ}	山梨県
<p>(1) 事業概要</p> <p>① 課題・背景 本箇所は、都留市古渡地区に位置する一級河川鹿留川の右支流であるが、近年の集中豪雨により溪流の荒廃が顕著となり、下流古渡地区への土砂流出のおそれが高まったため、土砂流出防止対策を早急を実施し、保全対象の保護を図る必要がある。</p> <p>② 整備目標・効果 □ 主要目標 ○ 土石流被害の防止 保全対象 人家 21 戸、市道 300m、農道 200m 田畑 2.5ha、公民館 1 棟 緊急度・危険度 10 ≧ 10 点 ※ 被害軽減額 504 ≧ 340 百万円 ※ (※：評価基準値)</p> <p>□ 副次効果 ○ 飲雑用水の安定供給</p> <p>③ 目標の達成方法 不安定土砂の堆積箇所直下へ治山ダム工を設置し、土砂流出防止及び溪床勾配の緩和を図り、土石流被害を防止する。</p>		<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>① 公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） <input type="checkbox"/> 妥当・妥当でない <input type="checkbox"/> 妥当でない</p> <p>② 事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない</p> <p>③ 経済妥当性 費用便益費 便益(B) / 費用(C) = 6.85 > 1.0 ・ 便益(B) = 766 百万円 ・ 費用(C) = 112 百万円</p> <p>④ 事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない ・ 堆積土砂の流出防止及び山腹崩壊地の復旧 土砂流出防止率 0% → 70%</p> <p>⑤ 整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 有効でない ・ 保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効</p> <p>⑥ 環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> 配慮 <input type="checkbox"/> 配慮不足</p> <p>⑦ 事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> 熟度 <input type="checkbox"/> 熟度不足 ・ 地元都留市からの強い要望あり</p> <p><妥当性評価> <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない</p> <p>④ 事業間優先度評価 ・ 貢献度ランク：a、副次効果ランク：1 ∴ 優先度評価：S I</p> <p>⑤ 総合評価 <input type="checkbox"/> 総合評価 <input type="checkbox"/> 総合評価不足 ・ (3) 及び (4) の結果から「最優先で実施」</p>	
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>① 整備内容 谷止工 4 基</p> <p>② 整備期間 平成 22 年度～平成 23 年度</p> <p>③ 総事業費 1 1 8 百万円（国費 5 8 百万円）（補助率 1 / 2）</p> <p>④ 全体計画 平成 22 年度 谷止工 2 基 6 1 百万円 平成 23 年度 谷止工 2 基 5 7 百万円</p> <p>⑤ 既整備内容・期間・事業費 なし</p>		<p>【事業位置図等】</p> <p style="text-align: center;">省 略</p>	